

～リスクアセスメントを学ぼう～

主催 神奈川労働局

無料

神奈川労働局において、神奈川県内の事業場を対象に、リスクアセスメントの理解を深め、安全衛生水準の向上を図り、とりわけ重篤な災害を減少させるため「職場の安全はリスクアセスメントから」と題した講習会を初級講座と中級講座に分けて開催することとなり、以下の内容で開催するとのご案内をいただきましたのでお知らせいたします。

開催日時

令和7年12月17日・令和8年1月16日

※各回内容は同じです、

初級講座は 9：30～12：00

リスクアセスメントの重要性を学ぶ
リスクアセスメントの進め方

中級講座は 14：00～16：15

リスクアセスメントの課題と今後
事業場におけるリスクアセスメントの取組

開催方法は ZOOMによるWeb方式

申込方法は

各回開催日の7日前までに
右記の二次元バーコード
もしくは神奈川労働局
ホームページから



建設業者のための雇用管理研修

建設業で選任義務のある雇用管理者のための研修です。令和7年度建設労働者雇用支援事業では、建設労働者の雇用の改善等に関する法律に基づき雇用管理に必要な知識の習得を目的とした研修を無料で実施しています。対象となる方は、雇用管理責任者の方、それに準ずる立場の方、雇用管理に必要な知識を習得したい方など

【基礎講習】雇用権利上必要な関係法令や各種制度に関する基礎的な知識の習得と向上を目的とした研修です。

対面講習・オンライン講習 定員各回30名
時間、各回9：30～17：00

無料

【開催日】 11月18日（火）

【川崎会場】 ミューザ川崎シンフォニーホール会議室2

【住 所】 川崎市幸区大宮町1310

【開催日】 12月3日（水）12月16日（火）

【横浜会場】 万国橋会議センター 4階

【住 所】 横浜市中区海岸通4-23

【コミュニケーションスキル等向上コース】講義とグループワークを通じて、若年層や部下への関わり方、職場でのモチベーション維持・向上の手法等について事例を基に学びます。

対面講習のみ 定員各回20名、時間 13：00～16：30

【開催日】 11月20日（木）

【川崎会場】 ミューザ川崎
シンフォニーホール会議室2

【開催日】 12月17日（水）

【横浜会場】 万国橋会議センター 4階



年末年始労働災害防止強調期間
ポスターの販売開始

今年の年末年始の労働災害防止強調期間は12月1日から1月15日まで、ポスターなどの用品販売を開始しております。今年は「本田紗来」さん、もう一つは風景で、富士山を背景とした「日の出」です。

ポスターなど、一部の用品には社名印刷の注文ができますが、近年印刷した商品が期日に届かないなどのトラブルが発生しており、ご注文の際は余裕を持ってご注文いただくようお願い申し上げます。



お詫びと訂正：先月号において本部表彰の功績賞をご紹介しましたが、中条久永様を横浜南分会と表記しましたが、横浜北分会の誤りでした。お詫びして訂正します。

支部行事予定

第60回神奈川県建設業労働災害防止大会

時：11月7日 14：30
所：横浜市西公会堂

第2回理事会

時：12月4日 15：00
所：建設会館講堂

技能講習部内監査

時：12月12日 15：30
所：神奈川支部専務室

分会事務局長会議

時：12月18日 14：30
所：建設会館311会議室

労働局新年挨拶

時：1月6日 9：30
所：神奈川労働局

建設5団体合同賀詞交歓会

時：1月6日 11：00
所：横浜ベイシェラトンホテル

正副運営委員長・部会長会議

時：1月15日 15：00
所：建設会館411会議室

正副支部長・分会長会議

時：1月29日 15：30
所：伊勢山ヒルズ

建災防神奈川支部ニュース

No.590 令和7年11月号

建設業労働災害防止協会 神奈川支部

横浜市中区太田町2-22番地 電話045-201-8456 FAX045-201-7735

URL <https://kensai boukanagawa.com/>

第60回神奈川県建設業労働災害防止大会の開催に当たり

神奈川労働局

局長

児屋野 文男



第60回神奈川県建設業労働災害防止大会の開催に当たり、関係者の皆様に心より敬意を表します。長年にわたり本大会を継続して開催されていることは、建設業における安全衛生意識の定着と向上に大きく寄与しており、深く敬意を表する次第です。

日頃から黒田支部長をはじめ、建災防神奈川支部の会員の皆様には、厚生労働行政の推進に多大な御理解と御協力を賜り、また、建設現場における安全衛生活動の推進に御尽力いただいていることに対し、心より感謝申し上げます。

建設業は、社会インフラの整備・維持に欠かせない重要な産業である一方で、依然として労働災害の発生率が高く、特に死亡災害の発生には深刻な懸念があります。本年は、9月末時点で死亡災害が12件に達しており、昨年1年間の件数と並ぶという、極めて憂慮すべき状況となっています。災害の多くは、作業に慣れたことによる油断や、ちょっとした「うっかり」が原因となっており、基本動作の徹底や、事前のリスクアセスメントの重要性が改めて問われています。

こうした状況の中、建災防神奈川支部では、「セーフティーリボン運動」「3分KY（危険予知）運動」「安全行動宣言運動」など、現場の安全意識を高めるための取組を積極的に展開されています。これらの活動は、作業員一人ひとりが安全を自らの責任として捉え、日々の行動に反映させるための有効な手段であり、現場の安全文化の

醸成に大きく貢献しています。

本大会のスローガン「～ストップ死亡重大災害！心身を整え、行動前に家族を想おう！～」は、まさに今求められている安全への意識と行動を象徴するものです。作業前に心身の状態を整え、家族の顔を思い浮かべることで、ひとつひとつの行動に慎重さと責任感が生まれます。このスローガンのもと、現場の皆様が一丸となって災害ゼロを目指すことを強く期待しています。

また、年末年始は工期の逼迫や人の入れ替わりなどにより、災害が発生しやすい時期でもあります。今からこの時期を見据え、現場全体で安全意識を高める取組を積極的に展開し、労働災害防止の機運を醸成していただきたいと思います。安全はすべての業務の基盤であり、年末年始を無災害で迎えることが、働く皆様とご家族の安心につながります。

神奈川労働局としても、引き続き関係機関と連携しながら、建設業における安全衛生水準の向上に努めてまいります。皆様の御健勝と、建設現場における安全の確保を心より祈念し、挨拶とさせていただきます。



働きがいのそばには労働保険

11月は労働保険未手続事業一掃強化期間です。

正社員、パート、アルバイト等の雇用形態に関らず、ひとりでも雇っていたら、労働保険の成立手続を行う義務があります。仕事中や通勤中の負傷、疾病から守る労働保険 労働者の休業や失業生活から守る雇用保険 労働保険は、その二つの総称です。厚生労働省では、11月を「労働保険未手続一掃強化期間」と定めて、全国において集中的な広報活動を展開し、未手続事業対策に取り組むことにしています。詳しくは神奈川労働局、労働基準監督署またはハローワークへご相談ください。厚生労働省ホームページ <https://www.mhlw.go.jp>

全国建設業労働災害防止大会（兵庫）開催



第62回全国建設業労働災害防止大会が「**その行動は大丈夫 一度止まって再確認 仲間意識で声掛け励行**」をスローガンに10月2～3日の日程で開催されました。

2日に神戸市中央区のワールド記念ホールで行われた総合集会には約4600人が参加しました。今井会長は「建設業界が持続的に発展するには、すべての人が健康で安全に安心して働ける魅力ある職場環境が不可欠だ」と訴え、続けて「全国大会は関係者が一堂に会し労働災害防止活動の大切さを再確認し、災害ゼロへの決意を新たにする場だ。建設業界が憧れの産業になるよう、今後も尽力をお願いします」と呼び掛け、2日間の日程が始まりました。

神奈川支部においては、優

良賞（工事現場）4 現場、（会社）3 社、個人（功労賞）4 名、（功績賞）12名が表彰を受けられました。

本大会は阪神淡路大震災から30年ということで、特別講演や自然災害の部会が設けられました。



初日の会場 ワールド記念ホール

☆建設業における署別労働災害発生状況☆（休業４日以上）

神奈川労働局 令和７年９月末現在

年＼署	横浜南	鶴見	川崎南	川崎北	横須賀	横浜北	平塚	藤沢	小田原	厚木	相模原	横浜西	合計
本年	27	14	23	43	23	70	30	41	22	27	31	60	411
			(2)		(1)	(2)		(1)	(2)	(2)		(2)	(12)
前年	41	18	42	40	42	51	40	31	26	44	41	54	470
	(1)			(1)	(1)	(2)			(2)			(1)	(8)

（注）労働者死傷病報告による、（ ）内は死亡者数である。コロナ感染によるものを除いている。

☆死亡災害発生状況☆

神奈川労働局 令和７年10月27日現在

業種＼年	死亡災害把握数			死亡災害件数		
	本年（令和７年）	前年同期（令和６年）	前々年同期（令和５年）	令和６年	令和５年	令和４年
製造業	2	6	3（１）	6	4（１）	2
建設業	12	10	14（１）	12	16（１）	9（１）
交通運輸業						
陸上貨物運送事業	5（３）	5（２）	6（２）	6（２）	9（３）	6（１）
港湾荷役業	2		1		1	
商業	2（２）	4（３）		4（３）		6（２）
清掃・と畜業	3	2	3	3	3	4
その他	7	3（１）	9（２）	4（１）	9（２）	3（２）
合計	33（５）	30（６）	36（６）	35（６）	42（７）	30（６）

（注）死亡災害把握数は、本年のみ欄外表示の日までに把握した死亡災害の件数で、（ ）は、事故の型が「交通事故」であるものを内数で表示しています。

☆死亡災害の概要☆

神奈川労働局 令和７年９月末現在

番号	発生月 発生時刻	業種 (請負回数) 事業場規模 年齢	起因物 事故の型	発生概要
1	２月 ９時頃	建築工事業 (1次下請) ～９人 40～44歳	コンベア はさまれ、巻き込まれ	ふ頭内で石炭を出荷する設備の塗装工事のためにコンベヤーカバーの荷卸し作業に従事していた被災者が作業中に行方不明となり、翌日、係留中であった貨物船の石炭船倉内から発見され、死亡が確認された。
2	３月 14時頃	その他の建設工事業 (元請) 10～19人 35～39歳	建築物、構築物 飛来、落下	住宅解体工事現場において、高さ２.4 mのコンクリート塀の取り壊しの作業を行うため、手持ち式の電動カッターを用いてコンクリート塀を分割していたところ、塀の上部が倒れ、飛散防止のため近傍でコンパネを持って追従していた被災者が下敷きになり死亡した。
3	３月 15時頃	土木工事業 (1次下請) ～９人 35～39歳	不整地運搬車 墜落、転落	河川改修工事にて、被災者が、不整地運搬車を操作し、土のうを運搬していたところ、護岸脇の通路より河川側の段差（高さ約１メートル）を落下し死亡したもの。
4	４月 12時頃	建築工事業 (2次下請) ～９人 45～49歳	有害物 有害物との接触	共同住宅の原状復旧工事において、浴室（ユニットバス）で有機溶剤を含有する洗浄剤をウエスに取って洗浄する作業をしていた被災者が、有機溶剤中毒になって死亡したもの。共同住宅の原状復旧工事において、浴室（ユニットバス）で有機溶剤を含有する洗浄剤をウエスに取って洗浄する作業をしていた被災者が、有機溶剤中毒になって死亡したもの。
5	４月 10時頃	建築工事業 (1次下請) ～９人 50～54歳	可燃性のガス 爆発	被災者は、１階床スラブのガス溶断作業（アセチレンガス＋酸素のボンベを使用）を行ったところ、爆発と思われる現象が生じ、コンクリート床材などが上下周囲に吹き飛び、地下ビットがむき出しの状態となった。被災者は爆発の影響により２階の床とともに地下１階に転落、落下してきた床材に挟まれ死亡したもの。
6	５月 14時頃	土木工事業 (元請) ～９人 30～34歳	玉掛け用具 激突され	温泉掘削工事現場において、さく井機本体の解体前の工程で、さく井機のやぐらにピン止め固定された鉄板を取り外す作業中、被災者と同僚が鉄板のつりビースに玉掛け、移動式クレーンで地切りして、ピンを抜いたところ、鉄板が被災者側に傾き、激突した。
7	５月 16時頃	土木工事業 (元請) ～９人 70～74歳	トラック 墜落、転落	ゴルフ場内の枯木の伐採を行った後、使用した解体用つかみ機をトラックに積載する作業時、トラックが逸走し、その後脱輪により横転した。トラック逸走時、トラックを止めるため運転席に乗り込もうとした作業員が横転したトラックと地面にはさまれ死亡した。
8	５月 16時頃	土木工事業 (元請) ～９人 70～74歳	トラック 墜落、転落	別掲載 6 頁
9	７月 14時頃	土木工事業 (元請) 10～29人 25～29歳	軌道装置 激突され	シールドトンネル内部（発進立坑から約１ km地点）において、シールドトンネル先端から発進立坑へ戻る機材運搬車と、発進立坑からシールドトンネル先端へ向かう電動式台車が衝突し、電動式台車を運転していた被災者が負傷し、病院に搬送されたが死亡したもの。
10	７月 13時頃	建築工事業 (元請) ～９人 25～29歳	屋根、はり、もや、けた、合掌 墜落、転落	工場の屋根の交換作業を行っていた被災者がアクリル板（縦１ m、横3.7 m）の屋根を踏み抜き、工場内に約17 m墜落したもの。
11	７月 13時頃	土木工事業 ～９人 45～49歳	トラック 激突され	傾斜地において、被災者が最大積載荷重３ トンのセーフティローダー車の荷台にショベルカーを積込む作業中、荷台を定位位置に戻そうと被災者が後輪付近で荷台のスイッチ操作をしたところ、前輪が浮き、輪留めを超えて当該車が逸走したものの。被災者は当該車を止めようとハンドルに手をかけたところ、当該車と壁に挟まれ、その衝撃で振り落とされ、後輪に轢かれ死亡したもの。
12	９月 14時頃	その他の建設工事業 ～９人 45～49歳	開口部 墜落、転落	別掲載 6 頁

10月中に判明した建設業の死亡災害の概要

発生月 発生時刻	業種 発注関係 事業場規模	起因物 事故の型	発生状況 災害防止のポイント
5月 16時頃	土木工事業 民間 ～9人	トラック はさまれ・巻き込まれ	【発生状況】 ゴルフ場内の枯木の伐採を行った後、使用した解体用つかみ機をトラックに積載する作業時、トラックが逸走し、その後脱輪により横転した。 トラック逸走時、トラックの横転により解体用つかみ機が荷台から転落、解体用つかみ機に乗っていたオペレーターはその場にあった立木との間にはさまれて死亡した。 ※サイドブレーキはかけていたが、輪留めはなし 造園工 70～74歳(元請) 【災害防止のポイント】 1 セーフティローダーダンプでの積み込み・積み下ろし作業は、必ず平坦な安定した場所に車両を停車して行うこと。 2 運転席から離れる際には、サイドブレーキを十分に引き、適切な規格の輪止めをタイヤに密着させて設置すること。 3 やむを得ず坂道で積み込み等作業を行う時は、運転手が車両に乗った状態で行うこと。
9月 14時頃	その他の建設工事業 民間 ～9人	開口部 墜落、転落	【発生状況】 地上3階建て倉庫の解体工事現場で、2階フロアの什器類の片付け中に、本工事で廃材搬出用に2階床面に設けられた開口部から、高さ約6.4m下方の1階の床面上に墜落した。 災害発生時、開口部には墜落及び飛来落下の防止のため、残置物のロッカー2台をもって覆いとしていたが、被災者本人がそのうち1台を移動させ、墜落したもの。 解体工 45～49歳(一次下請) 【災害防止のポイント】 1 開口部には覆い、囲い、手すりなど墜落防止措置を講じ、周辺を立ち入り禁止とすること。 2 適切な場所に作業を安全に行うためのスペースを確保すること。 3 開口部の安全対策を盛り込んだ作業計画書の策定、安全確保について事業者間の協議する組織を設けて連絡・調整を密にし、コンクリート工作物解体作業主任者の職務を的確に行うこと。 4 不慣れな作業者には安全教育を徹底すること。

建設荷役車両特定自主検査強調月間

～公益社団法人建設荷役車両安全技術協会
神奈川県支部からのお知らせ～

11月は建設荷役車両特定自主検査（特自検）強調月間になります。

特定自主検査は労働安全衛生法第45条第2項に定められた制度で、車両系建設機械、高所作業車、不整地運搬車、フォークリフトなど対象となる機械の実施台数は令和6年度には全国で約210万台と推定され、特自検が定着しつつあるとはいえ、未だ相当数の未実施機械があるものと思われます。

また、車両系建設機械などの対象機械に係る死亡災害は依然として多発しており、憂慮される状況です。建設荷役車両安全技術協会においては、令和7年度においても、建設荷役車両を扱う人の安全を確保し、労働災害の防止を目指して特自検の一層の普及促進を図るため、11月を特自検強調月間として各種の運動を強力に展開することとしました。

本年度は、神奈川県労働局・各労働基準監督署のご協力のもと、登録検査業者及び事業者における検査の実施体制及び実施対象機械の管理体制の整備を促進し、特自検が適正に実施されるよう、その周知徹底に努めることとしました。

過労死等防止啓発月間に向けて



神奈川県労働局
監督課長

松田 恵太郎

貴支部並びに会員事業場の皆様におかれましては、日頃より労働基準行政の推進に多大な御理解、御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

厚生労働省では、**過労死等防止対策推進法**及び「**過労死等の防止のための対策に関する大綱**」（令和6年8月2日閣議決定）に基づき、過労死等防止対策の取組を行ってきました。

しかしながら、労働時間等の現状をみますと、近年緩やかに減少傾向にはあるものの、**週労働時間60時間以上の雇用者の割合**は依然として**8%**を占めています。

加えて、過労死等の労災支給決定件数は近年増加傾向にあり、とりわけ増加している精神障害に関する事案の約2割においては、時間外・休日労働時間数が1か月当たり80時間を超えている状況が認められており、引き続き、長時間労働の削減等の過重労働解消に向けた機運の醸成を行う必要があります。

このようなことから、厚生労働省としては、長時間労働の削減を始めとする働き方の見直しに向けた取組を推進するため、11月を「過重労働解消キャンペーン」期間と定め、集中的な周知啓発等を行うこととしております。

私ども神奈川県労働局におきましても、キャンペーン期間中に、

厚生労働省では、下記の窓口にて労働相談等に対応する体制を設けています。過重労働等に関する悩みや疑問がありましたらご連絡ください。

ア 労働局・労働基準監督署
（開庁時間 平日 **8：30～17：15**）

イ 労働条件相談ホットライン
【委託事業】 **0120-811-610**（フリーダイヤル）
（相談受付時間：月～金**17：00～22：00**、
土日・祝日 **9：00～21：00**）

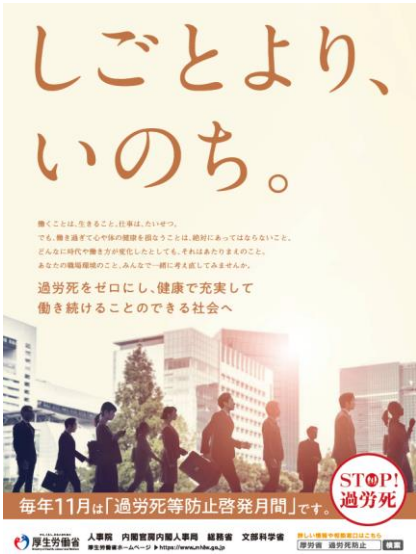
- ① 過労死等防止対策推進シンポジウムの開催
- ② 労働局長によるベストプラクティス企業への職場訪問
- ③ 長時間労働の抑制や賃金不払残業などの解消に向けた重点的な監督
- ④ 全国一斉の無料電話相談「過重労働解消相談ダイヤル」等を実施します。

こうした取組により、長時間労働を前提とした労働慣行からの脱却を図るとともに、年次有給休暇を取得しやすい雰囲気醸成する環境づくりに向けた取組を進めてまいります。

建設事業については、週休2日を確保することに配慮した適正な工期設定など、建設業で働く方の労働環境の改善に向けた取組について、公共工事、民間工事の発注者に対して、適正な工期の確保、建設業で働く方の処遇改善に向けて、理解と協力をお願いしてまいります。

また、国民全体の理解を得ることができるよう、厚生労働省の特設サイト「**はたらきかたススめ**」の周知等により、建設業を取り巻く状況について理解してもらい、発注者の協力が得られる環境づくりも進めてまいります。

結びに、「過労死等防止啓発月間」が、一人ひとりが、自分自身に関わることとして、過労死等の防止について考え、理解を深める機会となることを願い、私からの挨拶とさせていただきます。



第60回神奈川県建設業労働災害防止大会で表彰される皆様おめでとうございます。

優良賞

工事現場（24現場）

横浜南	三井住友建設 株式会社 横浜支店	大和計画新築工事
	渡辺・昭和建設 共同企業体	勝田小学校及び勝田小学校コミュニティハウス （仮称）建替工事（建築工事）
	佐藤工業 株式会社 横浜営業所	（仮称）吉田町ビルPJ新築工事
	馬淵建設 株式会社	（仮称）鶴見区生麦4丁目計画
	風越建設 株式会社	ソルティア新川崎モアグラン新築工事
	日栄・大栄建設 企業体	南本牧ふ頭建設工事・第5-1ブロック地盤改良工 （その5）
横浜北	東急・西武建設 共同企 業体	東急東横線・目黒線日吉駅と相鉄・東急直通線との接続 に関する工事（土木工事1工区）【受託工事】
	前田建設工業 株式会社 株式会社 大勝	六郷遮集幹線その3工事 （仮称）横浜市鶴見区上の宮一丁目計画新築工事
	奈良建設 株式会社	都市計画道路鴨居上飯田線(本宿・二俣川地区)街 路整備工事(その34)
	株式会社 関電工 南関東・ 東海営業本部神奈川支店	横浜S Tビル 非常用発電機更新工事
横浜西	大洋建設 株式会社 小雀建設 株式会社	瀬谷小学校建替工事(第一工区建築工事)
	株式会社 大相建設 株式会社 水村建設	二ツ橋北部第1期地区土地区画整理事業基盤整備工 事（その10）
		本牧ふ頭B突堤口径100mmから150mm配水管布設替工事
		上大岡西三丁目ほか1か所口径50mmから200mm配水 管布設替工事（ゼロ市工事）
	親和興業株式会社	大黒ふ頭先端緑地再整備工事
川崎北	株式会社 井上工務店 ジェクト 株式会社	西野川小学校体育館改修その他工事 （仮称）上小田中2丁目秋山マンション新築工事
	露木建設 株式会社	向ヶ丘中学校校舎改修その他工事
平塚	匠建設 株式会社	四之宮公民館新築工事（建築）
厚木	国土開発工業 株式会社 株式会社 小島組 株式会社 デック	R5横環南戸塚IC改良その2工事 厚木東高校商業教育棟新築工事（建築-第1工区） 上水3号・5号配水本管流量計改良に伴う1300mm ～800mm布設替工事
	人の森 株式会社	R5横環南戸塚IC改良その3工事

（一社）神奈川県空調衛生工業会⇒神空調
（一社）日本塗装工業会神奈川県支部⇒日塗装

会 社（18社）

川崎南	大川原建設 株式会社
横須賀	株式会社 二幸管理 株式会社 篠宮塗装店 株式会社 相洋建設工業 株式会社 神和美装 株式会社 U N A I R O A D 株式会社 クレスコ 須藤設備工業 株式会社 株式会社 藤建設
湘南	有限会社 西山土建 株式会社 山本工業 湘南渡邊 株式会社
小田原	株式会社 五神建設 金子建設 株式会社 有限会社 内原工務店
相模原	株式会社 肥後建設 共同ハウジング 株式会社 株式会社 横田設備

個 人 賞

功労賞（22名）

横浜南	佐原 幹久 菊地 宏肇	株式会社 フジタ 横浜支店 株式会社 安藤・間 首都圏土木支店 首都圏建築支店
横浜北	青木 亨	前田建設工業 株式会社 本店安全環境部
横浜西	新谷 圭	有限会社 新建
	川部 大輔	神奈川美研工業 株式会社
鶴見	黒川 直樹 吉野 憲一	松浦企業 株式会社 信幸建設 株式会社 東日本支社
横須賀	林 高広 中村 貴之	株式会社 ハヤシ建築 株式会社 山一施工
湘南	関口 和成	株式会社 関口電気工事
	川又 辰治	増子電気工事 株式会社
平塚	山本 正信	株式会社 菊正建設
	磯崎 康之	株式会社 坂本建設
小田原	宮嶋 鉄志 伊藤 秀夫	宮嶋建設 株式会社 株式会社 伊藤工務店

厚木	大槻 慎一 金井 眞司	愛甲建設 株式会社 株式会社 星建設
相模原	渡邊 健次 大河原 達 高崎 直	友渡建設 株式会社 有限会社 大河原設備 高崎建設 株式会社
神空調	桑田 義行	エルゴテック 株式会社
日塗装	山口 義和	株式会社 鹿沼

功績賞（21名）

横浜南	池田 正道 吉儀 亮	鹿島建設 株式会社 横浜支店 五洋建設 株式会社 東京土木支店
鶴見	賀谷 梅吉	JFEテクノス 株式会社
川崎南	斉藤 雅之	有限会社 サイトウエレクトリック商会
川崎北	深谷 隆士 根本 研	有限会社 深谷電気工事 株式会社 三秀
横須賀	岩崎 政美 真柄 加代 小川 克則	株式会社 岩崎水道工事店 石上建設 株式会社 株式会社 オガワ
	加藤 和己	有限会社 初声設備
	小久保 光義	ミツワ建設 株式会社
湘南	佐藤 岳人	門倉土木 株式会社
	入内島 健一郎	株式会社 高倉園グリーンセンター
	伊邊 孝雄	株式会社 現代建設
小田原	加藤 諭	加藤建設 株式会社
	勝俣 浩一	有限会社 丸要建設
厚木	小磯 芳男	人の森 株式会社
	前田 行哉	株式会社 山光建設
	後山 貴紀	株式会社 信和建設
相模原	林 義彦	株式会社 祥和工務店
日塗装	山田 一乃	株式会社 鹿沼

職長賞（8名）

横浜北	吉田 紀行 山下 司 畑村 亮 清野 保	株式会社 MAEKO 株式会社 中尾工務店 真生工業株式会社 株式会社 大東
川崎南	渡辺 健治 齋藤 瑞祥	沼田工業 株式会社 株式会社 石塚土木
川崎北	杉山 琢也	矢島建設工業 株式会社
神奈川県鉄筋業協同組合	下平 剛	株式会社 スチール・ワン